

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度			
総合計画	大項目	基本目標	05 住民主体の協働のまちづくり
	中項目	基本施策	02 ふれあい豊かなまちづくり
	小項目	施策	02 男女共同参画社会の形成
事務事業名		01 男女共同参画啓発事業	問 担当課(室) 人権啓発課 合 職・氏名 男女共同参画係長 高橋幸子 先 電 話 0869-64-1823

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	市民・行政・事業者
目 的 (何のために)	男女共同参画のまちづくりの推進に関し、様々な取り組みが行われているが、社会的につくられた性別の意識又は性別による固定的な役割分担に起因する課題は依然として広く存在し、真の男女平等が実現するに至っていない。備前市男女共同参画まちづくり条例を定め、市、市民及び事業者が協働してまちづくりを推進する。
行 政 活 動 (どのような方法で)	男女共同参画に関するイベント、セミナー、出前講座の開催や標語の募集、広報誌等による男女共同参画の啓発を行う。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	男女共同参画への意識づくり。男女共同参画の意識啓発や促進を図ることにより、備前市の男女共同参画のまちづくりが推進できる。

事業の実績					
活 動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	きらめきフェスタ(参加者数)	人	700	740	900
実 績	啓発標語募集事業(応募者数)	人	2,692	2,666	2,772
	フェイスびぜん運営事業(利用者数)	人	2,229	1,890	1,970
	講座等啓発事業(参加者数)	人	331	497	373
	広報啓発事業(掲載件数)	件	13	13	13
財 源	事業費	千円	1,901	1,387	1,130
	必要人員	人	6,385	6,795	7,475
	事業費	千円	8,286	8,182	8,605
	国 県 支 出 金	千円	629	950	997
	受 益 者 負 担 金	千円			
	総 入 金 債 償	千円			
そ の 他 ()					
一 般 財 源		7,657	7,232	7,608	
受 益 者 負 担 比 率	%				

結果指標①	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	講座等啓発事業(参加者数)	説明	いきいきセミナー、出前講座の参加者数		
結果指標② <td>結果指標量</td> <td>人</td> <td>331</td> <td>497</td> <td>373</td>	結果指標量	人	331	497	373
	対 前 年 比	%	-	150.2%	75.1%
	活 動 コ ス ト	円	3,533,610	2,957,270	3,229,410
	単 位 当 たり コ ス ト	円	10,676	9,270	8,658
結果指標③ <td>啓発標語募集事業(応募者数)</td> <td>説明</td> <td>市内小、中学校、高等学校、養護学校及び一般市民の応募者数</td> <td></td> <td></td>	啓発標語募集事業(応募者数)	説明	市内小、中学校、高等学校、養護学校及び一般市民の応募者数		
	結果指標量	人	2,692	2,666	2,772
	対 前 年 比	%	-	99.0%	104.0%
	活 動 コ ス ト	円	1,003,500	478,650	298,920
	単 位 当 たり コ ス ト	円	373	180	108

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民の割合	目標値(A)	-	16	19	20
	実績値(B)	13.9	18.2	17.6	到達目標年度
	達成率(B/A)	-	113.8%	92.6%	平成23年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
市民意識調査回答者・・・4、市民主体の協働のまちづくり (2) ふれあい豊かなまちづくり (施策) 男女共同参画社会の形成					

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成20年度事業)	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> 判定理由・課題認識 男女共同参画社会基本法第9条、備前市男女共同参画まちづくり条例第4条、5条に市に市の義務が定められており、妥当な事業である。国も基本法10周年を向かえ更なる取組を行っていく予定であり、備前市においても積極的に働きかけ、全庁あげて、あらゆる施策の実施に男女共同参画の視点を反映させるよう取り組んでいる。継続的に啓発して市民協働でまちづくりをしていく。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> 判定理由・課題認識 講座、講演等に県や市の職員、関係機関との共催による実施など経費節減に努めている。また、DVDの上映などを利用した啓発も取り入れたり、参加者の参加しやすい環境を作り、男女関係なく参加できるものになっている。
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E> 判定理由・課題認識 講座等の開催、きらめきフェスタの市民協働の開催、啓発標語の募集、3月号の広報掲載は市民の意見が反映され、市民の意識高揚に寄与できる。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況					
目標値	結果指標量①	450人	結果指標量②	2,800点	成果指標量
					19
状 況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
		○			
説 明	標語の募集について、学校関係以外の一般市民への募集を募ることで、標語を考えることでの意識の高揚を促す。				

総合評価	
広く市民各層を対象に、継続的に啓発事業を実施し意識啓発を図ることにより、男女共同参画のまちづくりを実施する。	評価区分<A~E> B

平成22年度以降の方向性・内容					
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
		○			
説 明	男女共同参画のまちづくりには、DV等の問題は避けられず、DVとはどのようなことか、どうすれば安全、豊かな生活が送れるかなど、啓発し安全安心のまちづくりを目指す。				
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果	
改善がある場合	妥当性	講座の対象者拡大	平成21年度	幅広い年代層の啓発	
	効率性	講座の企画、内容工夫	平成21年度	人材育成や意識啓発を進める。	
	有効性	市民協働のまちづくり	平成21年度	きらめきフェスタにおいてフェイス利用者等の参加で目的的な参加者を見込める企画にし、参加意欲を高める。	